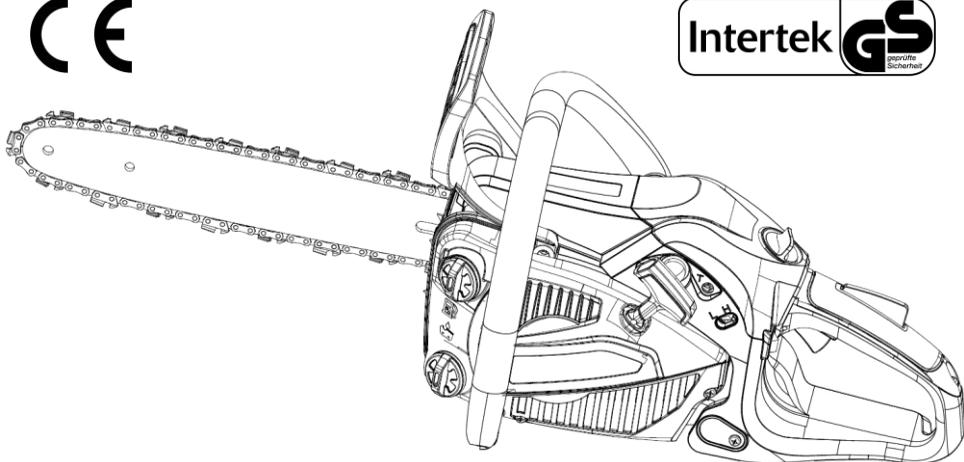


TOPSUN 

チェーンソー

HCS128

取扱説明書



警告

- ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業して下さい。
取扱説明書の指示内容を守って下さい。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

警告表示について



このマークは、重大な傷害または死亡につながる可能性のある事故を防止するために従わなければならない指示を示しています。



このマークは、従わなければならない指示を示します。従わない場合、機械的な故障、損傷の原因となります。



このマークは製品の使用方法に関する事を記載しています。

1. 安全にご使用いただくために……………3・4・5
2. 警告表示ラベル・その他表示……………6・7・8
3. 各部の名称……………9
4. ガイドバーとソーチェンの取付け方……………10・11
5. 燃料とチェンオイルについて……………12・13
6. エンジンの始動方法……………14・15
7. エンジンの停止方法とキャブレタ調整……………16
8. チェンブレイキの操作確認……………17・18
9. 伐倒造材作業……………19
10. 点検整備……………20・21・22
11. ソーチェンの目立て……………23・24
12. 故障対策……………25
13. 仕様……………26
14. 保管……………27



1. 取扱説明書

- ・本書では、製品の組み立てや操作・点検・整備等に必要事項が記載されています。よく読んで理解して下さい。
- ・本書は、いつでも読めるように保管して下さい。
- ・製品の改良の為に、予告なしに内容を変更する場合があります。
- ・本書の図は説明をわかりやすくする為、現品と異なっている場合があります。
- ・本書を損傷により可読できない場合や紛失した時は、販売店から購入して下さい。事故や重傷を負う原因となります。

2. 製品の使用目的以外での使用禁止

- ・この製品は、木および木製品を切断する為に作られたものです。記載されている用途以外に使用しないで下さい。事故や重傷を負う原因となります。

3. 製品の改造禁止

- ・製品を改造しないで下さい。事故や重傷を負う原因となります。

4. 製品の点検・整備をしていない場合使用禁止

- ・定期的に点検・整備を行って下さい。事故や重傷を負う原因となります。

5. 製品の使用者

- ・体調不良や、疲労、飲酒、薬物を服用しているなどの体調が万全でない時は使用しないで下さい。
- ・次のような方は使用しないで下さい。
妊娠中の方・16歳未満の方・取扱説明書の内容を理解していない方
事故や重傷を負う原因となります。

6. レイノー現象の症状に関する注意

- ・指に不快感、赤み、腫れがあったり、白くなるなど感覚が無くなった事のある方は製品を使用する前に医師に相談して下さい。
指にレイノー現象と呼ばれる症状が現れる事があります。

7. 保証書

- ・使用目的以外の作業による製品の故障、または改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になる為ご注意ください。詳しくは保証書をお読み下さい。

8. 事業者様へ

- ・この製品を使用して作業者に立ち木の伐木、かかり木の処理または造材の業務を行わせる場合は、法規則で定める特別教育を受講させて下さい。
(労働安全衛生規則・第36条8号)

9. 健康管理

- ・休憩を取りながら余裕を持って作業をして下さい。手足や体を温かくして下さい。
- ・作業中に体調が悪くなった場合は、すぐにエンジンを停止し、作業を中止して下さい。
- ・厚生労働省の通達は以下の通りです。
- ・1日の操作時間：最大でも2時間以内
- ・1回の連続操作時間：10分以内
- ・1回の連続操作後の休止時間操作時間と同じ時間程度健康障害を受ける恐れがあります。

10. 服装の点検

- ・身体にあった作業衣を着用し、次の事を守って下さい。
- ・上着（長袖）のボタン、ファスナー、袖口をきちんと閉め、裾はズボンにしまう。
- ・ズボンは裾閉まりの良い長ズボンとし、裾は作業靴の上部に挟み込む。
- ・ネクタイ、装飾品などは着用しない。
- ・髪の毛は肩より上でまとめる。
事故や重傷を負う原因となります。

1. 安全にご使用いただくために

11. 保護具の着用

- ・ 下記の保護具を着用して下さい。
- ・ 保護帽（ヘルメット）：頭部の保護
- ・ 保護メガネ（ゴーグル）：目の保護
- ・ フェイスシールド：顔の保護
- ・ 耳覆い（イヤーマフ）や耳栓：聴力の保護
- ・ 防振手袋：寒さや振動から手を保護
- ・ 滑りにくい丈夫な作業靴（先芯入り）：足の保護
- ・ チェンソー用防護ズボン、脚カバー：脚の保護
視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。
- ・ 必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
- ・ 防塵マスク：呼吸器の保護
- ・ 防蜂網：蜂の襲来対策

12. 製品の使用環境・作業環境

- ・ 次のような場合は製品を使用しないで下さい。
- ・ 荒天時や落雷の恐れがある時・急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所
- ・ 夜間や視界が悪い場所・転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

13. 事故やケガへの備え

- ・ 事故やケガに備えて下記の用意をして下さい。
- ・ 救急箱（応急手当用）
- ・ タオルや手ぬぐい
- ・ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）
応急手当や外部への連絡ができない場合、症状が悪化する恐れがあります。

14. 発火・発煙・火災への備え

- ・ 発火、発煙、火災などに備え、消火器やシャベルを用意して下さい。
- ・ エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保して下さい。
- ・ 周囲に類燃しないようシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火して下さい。
あわてて対処しようとする、火災やその他の損害の拡大につながります。

1. 安全にご使用いただくために

警告表示ラベル・その他表示



(1) 全ての警告をよく読んで理解したうえでご使用して下さい。



(2) キックバックに注意して下さい。



(3) チェンソーを片手で使用しないで下さい。



(4) チェンソーは常に必ず両手で使用して下さい。



(5) 作業時は保護具を必ず着用して下さい。



(6) ご使用前に取扱い説明書をよく読み正しく作業して下さい。



(7) 作業時は防護手袋を必ず着用して下さい。



(8) 作業時は防護靴を必ず着用して下さい。

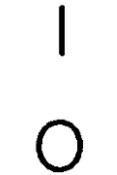
1. 安全にご使用いただくために

安全な操作とメンテナンスを行う為、
製品にマークを表示しています。
マークに従い間違えない様操作して下さい。



(a) 混合ガソリンを燃料タンクに給油して下さい。

(b) チェンオイルをオイルタンクに補給して
下さい。



(c) オートリターンストップスイッチ

0位置（停止位置）にすると瞬時にエンジンが
停止します。

停止後は瞬時に、| 位置（運転位置）に戻ります。



(d) チョークノブを反時計回りに回してチョークを
閉じます。

チョークノブを時計回りに回してチョークを
開きます。



(e) 「H」マークの調整ねじは、高速回転混合
燃料調整ネジです。

「L」マークの調整ねじは、低速回転混合
燃料調整ネジです。

「T」マークの調整ねじは、アイドル速度
調整ねじです。

1. 安全にご使用いただくために

(f) ソーチェンの取り付け位置を表示しています。

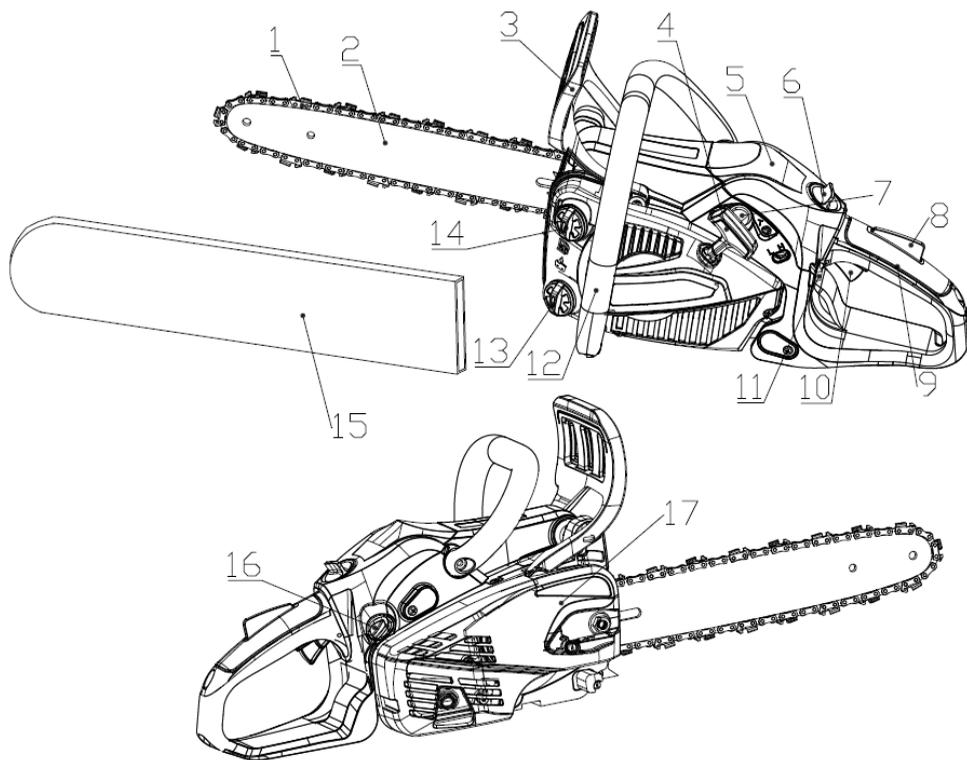


(g) エンジンの始動方法は手動です。

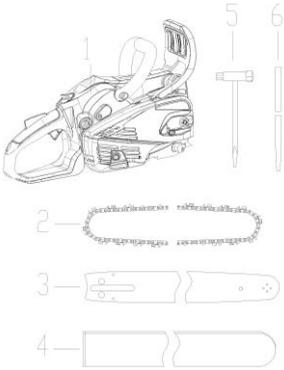


2. 各部の名称

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1.ソーチェン | 7.プライマリポンプ | 13.オイルタンクキャップ |
| 2.ガイドバー | 8.セーフティロックレバー | 14.燃料タンクキャップ |
| 3.ハンドガード | 9.リアハンドル | 15.チェンカバー |
| 4.スタータクリップ | 10.スロットトリガー | 16.チョーク |
| 5.エアークリーナカバー | 11.エンジンスイッチ | 17.スプロケットカバー |
| 6.クリーナカバーノブ | 12.フロントハンドル | |



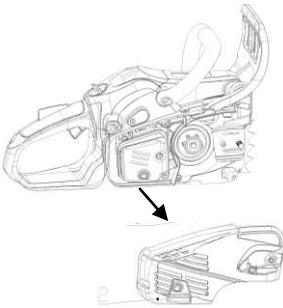
3. ガイドバーとソーチェンの取付け



*販売時に本製品は組立済みです。

4～6の付属品が入っています。確認して下さい。

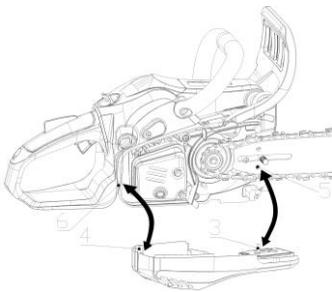
- (1) チェンソー本体
- (2) ソーチェン
- (3) ガイドバー
- (4) チェンカバー
- (5) プラグレンチ
- (6) やすり



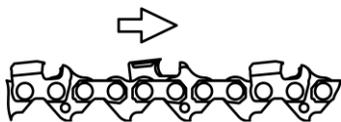
⚠ WARNING

○手袋を必ず着用してソーチェンを取付けて下さい。

1. ハンドガードを手前に引いてチェンブレイキが解除されている事を確認して下さい。
2. スプロケットカバー取付け用ナットを付属のプラグレンチで緩めて、スプロケットカバーを取り外して下さい。
3. ソーチェンが入りやすいようにガイドバーをクラッチ側に寄せてガイドバーとソーチェンを取付けて下さい。
スプロケットカバーとチェン張り突起をチェンソー本体の穴とガイドバーのチェン張り用の穴と合わせスプロケットカバーを取付けて下さい。
(チェン張り突起が外れずガイドバーが動く程度)



4. ガイドバーとソーチェンの取付け



ソーチェンの取付け方向に注意して下さい。

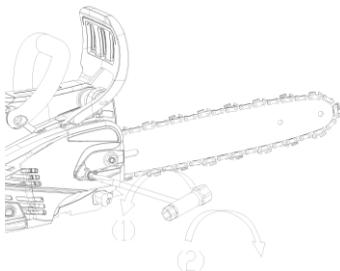
ソーチェンの回転方向

4. ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン張り調整ねじを右に回してソーチェンを張って下さい。

5.

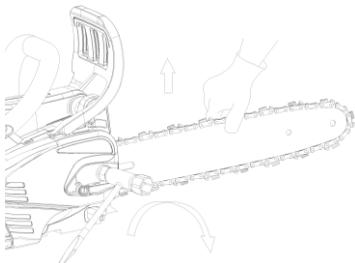
(1) 緩める (左回し)

(2) 締める (右回し)



6. ガイドバーの先端を持ち上げてスプロケットカバー取付け用ナットを確実に締めつけて下さい。

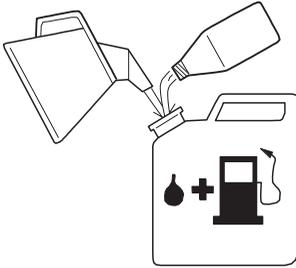
その後ソーチェンが手で動く事を確認して下さい。



*** ソーチェンは初期ご使用時には伸びがあります。新品時には特に適正なソーチェンの張り状態を確認して下さい。**

5. 燃料とチェンオイルについて

■燃料について



1. 混合比 [50:1] = [レギュラーガソリン : 2 サイクルエンジンオイル] 混合比の正しくない燃料はエンジン不調の原因となります。

2. ガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合比

ガソリン (L)	2サイクルエンジンオイル (mL)
2	40
4	80
5	100

* J A S O性能分類FDグレード以上の50 : 1 適応 2サイクルエンジンオイルでレギュラーガソリンとの混合比は50 : 1で使用して下さい。



⚠ WARNING

1. 燃料の補給はエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行って下さい。
2. 補給中にタバコを吸うなど、火気を近づけないで下さい。
燃料が引火して火災を起こしたり、火傷を負う事になります。

3. 燃料の補給前に製品及び補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気を逃がして下さい。作業者自身も手のひらを地面や金属に押し当てるなどして静電気を逃がして下さい。
4. 燃料の補給時に金属製の漏斗（ろうと）を使用しないで下さい。
静電気が燃料に放電するなど、火災の原因となります。
5. 燃料の補給は風通しの良い場所で、製品と補給用タンクを地面に置いて行って下さい。
トラックの荷台の上などでは行わないで下さい。
6. 燃料タンクキャップを開ける際は、タンクと外気の間に圧力差が生じていますので、ゆっくり開けて下さい。
7. 燃料を燃料タンク口元まで入れないで下さい。

5. 燃料とチェンオイルについて

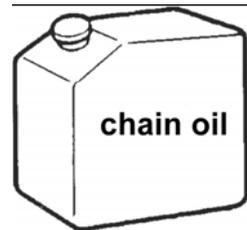
8. 燃料が少しでもこぼれた場合は必ず拭き取って下さい。ただし湿度が低いときに乾いた布でふくと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取って下さい。
9. 燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがある場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
10. 補給用タンクは火気のない日陰に置いて下さい。燃料に引火し火災を起こすなど火傷を負う原因となります。
11. 燃料を運搬する際は鉄鋼製のガソリン携行缶を使用して下さい。
12. 余った燃料は鉄鋼製のガソリン携行缶で保管して下さい。
ポリ容器での運搬や保管は法律で禁止されており、火災の原因となります。

! IMPORTANT

1. この製品に使用する燃料はレギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。アルコール混入燃料はゴム製部品の劣化を早めますので、使用しないで下さい
2. 混合燃料は劣化しやすい為、使用する分量だけを混合して下さい
3. 余った燃料の保管期間は、一か月程度として下さい

■チェンオイルについて

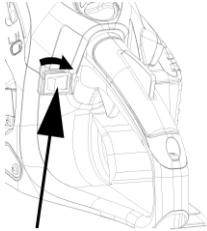
1. チェンオイルタンクのキャップを開けてオイルタンクに補給して下さい。補給後はオイルタンクキャップを確実に締めつけて下さい。
チェンオイルはチェーンソー用チェンオイルを使用し、燃料を補給する時に同時に補給して下さい。



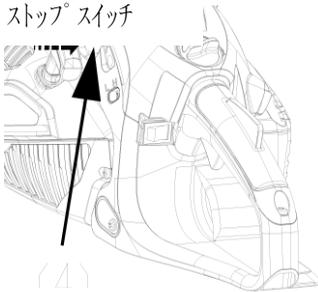
! IMPORTANT

1. ソーチェンとガイドバーとの摩擦を防ぐ為と、ソーチェンへの樹脂の付着を防ぐ為に運転中ソーチェンにオイルを与えます。
2. 廃油、再生油は故障の原因になるので使用しないで下さい。

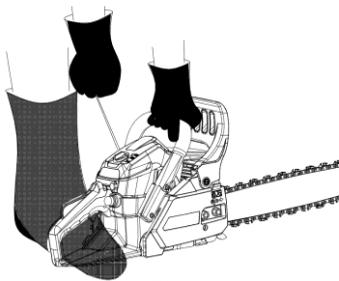
6. エンジンの始動方法



ストップスイッチ



プライマポンプ

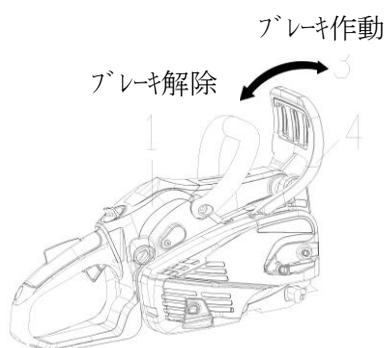


チョークレバー

■ 冷えたエンジンの始動

1. 混合燃料、チェンオイルがそれぞれのタンクに入っていることを確認して下さい。
2. ハンドガードを前方に押しチェンブレーキ作動させて下さい。
3. スイッチがON状態にある事を確認して下さい。
4. プライマポンプを押す・離すの操作を繰り返してポンプ内に燃料が上がってくるのを確認し、さらに2回押して下さい。
5. チョークを左側に回しチョーク位置にして下さい。
「チョークを左側に回すとラッチ（スロットルが少し開いた状態）になります。」
6. チェンソー本体を図のように押さえ、スタータグリップを最初の爆発音（初爆）がするまで数回引いて下さい。
7. 爆発音がしたらチョークレバーを右側に回してスタータグリップを引いてエンジンを始動して下さい。
***チョークレバーを戻さないままスタータグリップを引き続けると、燃料を吸込みすぎてエンジンが始動しにくくなります。**
8. 始動後はセーフティロックレバー（スロットルトリガーの誤操作を防ぐ安全装置）を手のひら押ししながらスロットルトリガーを少しだけ人さし指で引いて、ラッチ状態を解除して下さい。
9. ハンドガードを手前に引いてチェンブレーキを解除して下さい。
(チェンブレーキを解除しないとブレーキがかかったままになり、ソーチェンは回りません)

6. エンジンの始動方法



- ・スタータグリップを引く時は、まず軽く引き出し、さらに素早く引いて下さい。また、引きヒモの2/3以上は引き出さないで下さい。スタータグリップを戻す時は、途中で手を離さないで下さい。
- ・チェンブレーキがかかっている間は、エンジンの回転を上げないで下さい。
*遠心クラッチ、チェンブレーキが破損する場合があります。

■暖まっているエンジンの始動

1. 14ページの冷えたエンジンの始動の手順1から4を実行して下さい。
2. チョークを使用せずスタータグリップを引いて下さい。

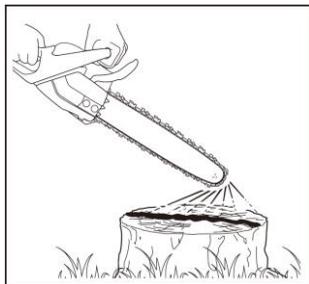
*エンジンが始動しにくい場合は、チョークレバーを一旦左側に回しラッチ状態にしてチョークレバーを右に回して下さい。

始動後はセーフティーロックレバー（スロットルトリガーの誤操作を防ぐ安全装置）を手のひらで押しながらスロットルトリガーを少しだけ人指し指で引いて、ラッチ状態を解除して下さい。

始動しない場合は■冷えたエンジンの始動の手順で始動操作を行って下さい。

■エンジンの暖気運転

1. 始動したら、数分間低速運転（暖気運転）をして下さい。
2. セーフティーロックレバーを手のひらで押しながらスロットルトリガーを徐々に引き、エンジンの回転数を上げて下さい。
3. ソーチェンのチェンオイル給油状況を確認して下さい。

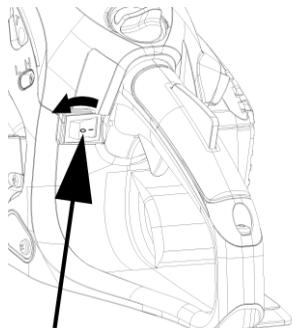


*チェンオイルはエンジンを始動させると自動的にソーチェンに給油されます。切り株などの乾燥した面の上で、面に触れないようにして数秒間エンジンの回転を上げ（中速）チェンオイルの細い線が面に付く事を確認して下さい。

4. スロットルトリガーを戻すと、ソーチェンの回転が停止します。

7. エンジンの停止方法・キャブレタ調整

■エンジンの停止方法



ストップスイッチ

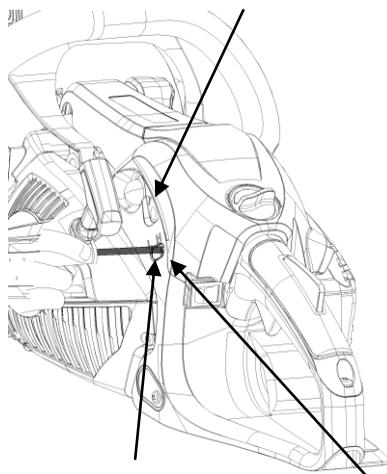
1. スロットルトリガーから指を離しエンジン回転をアイドリング回転に戻して下さい。
2. ストップスイッチを“0” (STOP)の方向に指で押し込んでエンジンが止まりましたら指を離して下さい。

*エンジン停止後ストップスイッチから指を離すとストップスイッチは自動で”I” (ON)の位置に戻ります。

! IMPORTANT

■キャブレタ調整

アイドリング調整ねじ (T)



低速調整ねじ (L)

高速調整ねじ (H)

1. キャブレタの調整

キャブレタは工場出荷時に基本調整を行っておりますので、不具合が発生した場合はお買い求めの販売店へ点検を依頼して下さい。

2. アイドリング調整

エンジンを始動させてアイドリングにした状態でチェンブレーキを解除した後、アイドリング調整ねじ (T) をソーチンが回り始めるまで右に回し、その後左に1/2回転戻します。

*低速調整ねじ (L) 高速調整ねじ (H) は調整しないで下さい。

8.チェンブレーキの操作確認

WARNING

1. ガソリンの近くや、ガソリン臭気がある場所では、チェンブレーキの確認は絶対に行わないで下さい。チェンブレーキの過熱による引火の恐れがあります。
2. チェンブレーキは必要のない時には使わないで下さい。
3. チェンブレーキがかかっている間は、エンジンの回転を上げないで下さい。
4. チェンブレーキにおが屑が詰まると、チェンブレーキの作動が悪くなる場合があります。常に清掃しておいて下さい。

■チェンブレーキの機能

- ・チェンブレーキはハンドガード（ブレーキレバー）を前方に押すことにより作動し手前に引くことにより解除します。

チェンブレーキの機能は、キックバックの発生時にソーチェンの回転を停止させて、負傷を減少させることでありキックバックを防ぐことはできません。

チェンブレーキがあってもキックバックが起こらないように注意してチェンソーを操作して下さい。

通常の使用及び整備が適切であっても、チェンブレーキが正常に作動しないことがあるので次のような場合は使用しないで下さい。

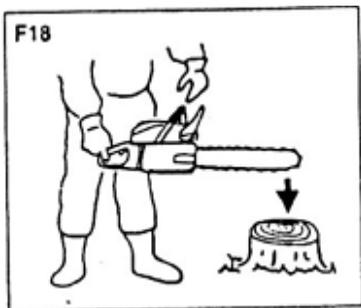
- ・身体に近すぎる位置でチェンソーを持った場合。
- ・ハンドガード（ブレーキレバー）に接触する位置にフロントハンドルを握った左手が無い場合。
- ・ブレーキバンドにゴミ、グリース、オイルなどが入りこんだ場合。

■手動でのチェンブレーキの確認

- ・1日に数回、手動でチェンブレーキが正しく作動する事を確認して下さい。キックバックによりケガを負う恐れがあります。
1. エンジンを始動させ、それぞれのハンドルを両手で持ちエンジン回転を高速にして下さい。
 2. フロントハンドルを持ったままの左手首でハンドガードを前方に押して、チェンブレーキを作動させて下さい。
 3. ソーチェンが瞬時に停止する事を確認して下さい。
 4. スロットルトリガーを戻して下さい。
 5. ハンドガードを手前に引いてチェンブレーキを解除して下さい。
- *ソーチェンが瞬時に停止しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

8. チェンブレーキの操作確認

WARNING



1. 図のように平らな切り株または板などを準備し
切り株または板から約55cm上にチェンソー
を保持して下さい。
 2. その位置からリヤハンドルを右手で軽く支えた
ままフロントハンドルを左手で支えたまま
フロントハンドルを離し、ガイドバーの先端が
板などに当たるように落として下さい。
チェンブレーキが作動すれば正常です。
- *チェンブレーキが作動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

9. 伐倒造材作業

▲ WARNING



1. 高所での枝打ち、枝払い作業の注意

- ・高所（高さが2mを超える場所）でチェーンソー作業をする時は高所作業用の機器を活用して安定した足場を確保して下さい。
- ・安全帯（芯入り）を着用して身体をしっかり固定して下さい。
- ・エンジンを始動する前に、スロットルトリガーの誤動作を防ぐ安全装置（セーフティーロックレバー）が確実に作動する事を確認して下さい。
- ・エンジンは安定した場所で始動して下さい。
- ・片手持ち作業や、腕を伸ばしてのチェーンソー操作はしないで下さい。
- ・作業範囲は作業者の肩から腰までの高さとし、それ以外では作業しないで下さい。



落下事故などにより、重傷を負う事になります。

2. キックバックに注意

- ・チェーンソーの使用中に、先端を木材や石などに接触させたりソーチェンが木に挟まれた場合、キックバックが発生する事があります。作業場には、他の木材や切り株などの障害物が無い事を確認して下さい。また、ハンドルを必ず両手で握って下さい。ソーチェンに接触し、重傷を負う原因になります。
- ・細い木や枝を切る場合、細い木や枝がソーチェンに絡まったり作業者の方に跳ね返ったり、バランスを失う事がありますので注意して下さい。

飛散物に当たりケガを負ったり、転倒して重傷を負う原因となります。

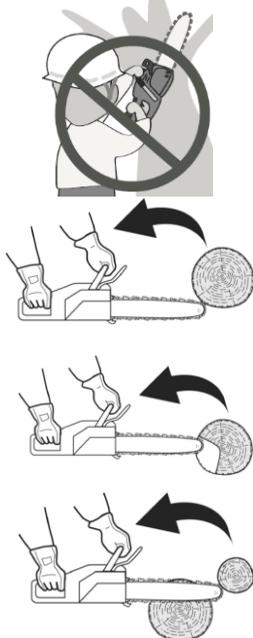
3. 第三者の立ち入り禁止

- ・作業中は他の人や動物などを作業領域内に入れないで下さい。飛散物やキックバックなどにより、重傷を負う原因になります。

4. 無理な姿勢での作業の禁止

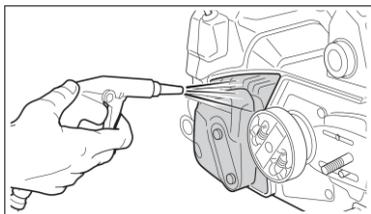
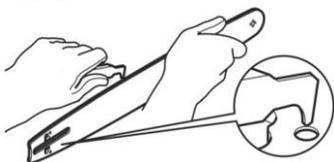
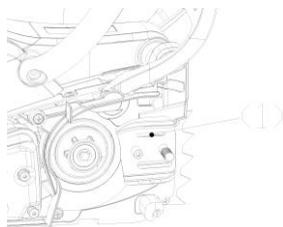
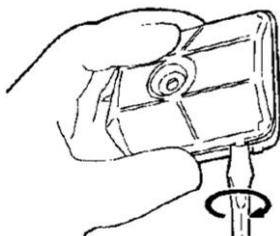
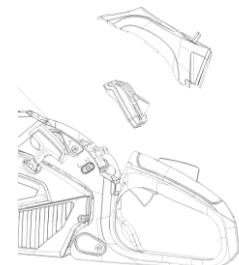
- ・足元をしっかりさせバランスを保ち、安定した姿勢で作業をして下さい。

転倒や誤った操作などにより、事故や重傷を負う原因となります。



⚠ WARNING

1. チョークレバーをチョーク位置にしてから、エアークリーナノブを緩めてエアフィルタを取り外して下さい。
2. 軽くホコリを払うか、汚れがひどい時は中性洗剤で洗いよく乾燥させてから取付けて下さい。エアフィルタが破損している場合は交換して下さい。
3. エアフィルタを元の位置に取付けて下さい。
4. エアークリーナカバーを取付け、クリーナカバーノブを締めて下さい。
5. オイル穴は針金などで掃除して下さい。
6. ガイドバーの溝を小型ドライバなどを使って清掃して下さい。
7. ガイドバーを定期的に裏返して下さい。
8. ガイドバーを取り付ける前に、スプロケットクラッチを点検し、ガイドバー取付け部をきれいにして下さい。
9. シリンダフィンの点検
シリンダフィンの中にゴミが詰まるとエンジンの冷却効果が悪くなります。シリンダフィンの中のゴミやホコリを取り除いて冷却風の通りをよくして下さい。



10. 点検・整備

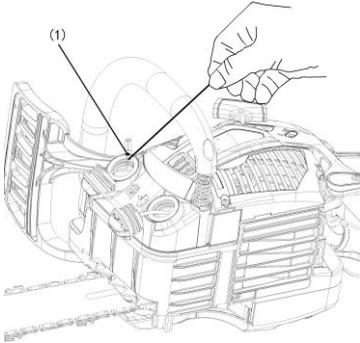
10. 燃料フィルタ、オイルフィルタの点検

燃料フィルタが詰まるとエンジンの始動が困難になったりエンジン不調の原因になります。

- ・針金などを使って給油口からフィルタを引出し点検して下さい。
- ・フィルタが汚れていた場合は、交換して下さい。

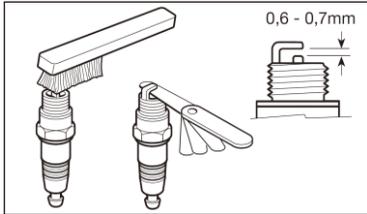
- ・タンクの内側が汚れていた場合は、燃料できれいにして下さい。
- ・点検後は各タンクキャップを確実に締めつけて下さい。

*タンク内にゴミが入らないようにして下さい



11. スパークプラグの点検

1. 付属のプラグレンチでスパークプラグを外して下さい。
2. スパークプラグの標準火花隙間は0.6～0.7mmです。標準火花隙間より広すぎたり狭すぎる場合は調整が必要です。電極の周囲にオイルや蓄積物が付いている時は清掃して下さい。電極やターミナルが摩耗している時やガイシに亀裂がある場合は新品と交換して下さい。
3. スパークプラグは付属のソケットレンチでしっかり締めて下さい。



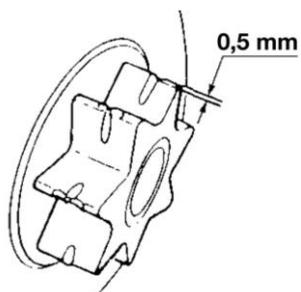
*適応プラグ

CHAMPION Y4C

NGK CMR6A

シリンダのプラグ穴付近や、燃料がこぼれたり燃えやすい場所での発火テストは禁止

10. 点検・整備



9. スプロケットにヒモや草が巻き付いていないか点検して下さい。巻き付いているときは取り除いて下さい。
10. スプロケットが摩耗すると、ソーチェンの損傷や摩耗を早めます。新しいソーチェンに交換するときはスプロケットを点検し、0.5mm以上摩耗したら交換して下さい。

11. ソーチェーンの目立て

▲ WARNING

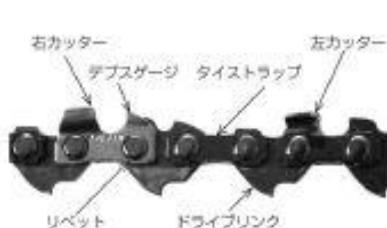
▲ 注意

・目立て作業は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから手袋を着用して行って下さい。
ソーチェーンに接触し、ケガを負う恐れがあります。

重要

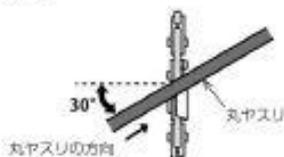
・この製品に付属するソーチェーンタイプは、オレゴン 91-S2E です。

■ソーチェーン各部の名称



- ・ デブスゲージ: カッターの切り込みの深さを決めます。
- ・ 右カッター: 木材を切開するカッターです。
- ・ タイストラップ: カッターとドライブリンクを結合します。
- ・ 左カッター: 木材を切開するカッターです。
- ・ リベット: 各部分のつなぎの役目をします。
- ・ ドライブリンク: スプロケットと噛み合い、動力伝達を受けると共に、ガイドバーの溝にはまりソーチェーン全体のガイドとチェーンオイルを運ぶ役割があります。

■目立て

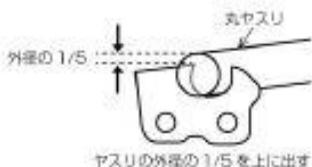
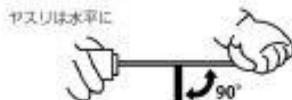


ソーチェーンの目立てには丸ヤスリと平ヤスリを使用します。丸ヤスリはカッターの研削に、平ヤスリはデブスゲージの研削に使用します。

各ソーチェーンに使用する丸ヤスリの直径は次の通りです

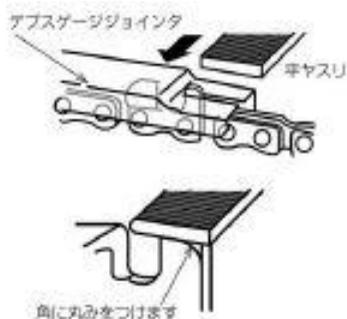
ソーチェーン	丸ヤスリの直径 (mm)
91タイプ	4.0

上刃目立て角度は30°です。

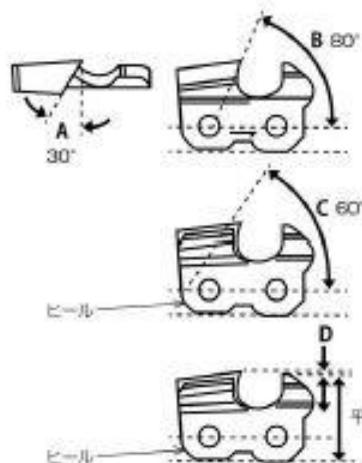


1. 丸ヤスリを水平に保って、前方に軽く押し出して下さい。
 2. 手前に引くときは丸ヤスリをソーチェーンに当てないで下さい。
 3. 研削のとき丸ヤスリの径の1/5をカッターの上に出し、目立てをして下さい。
 4. 左右のカッターの長さが均等になるようにヤスリがけをして下さい。
- * 正しい切面と角度を保つため、別売りのヤスリホルダーを使用して下さい。

11. ソーチェーンの目立て



5. デブスゲージの溝は、デブスゲージジョイントと平ヤスリを用いて下さい。デブスゲージジョイントと平ヤスリは別売りとなります。
6. デブスゲージジョイントを左の図のようにカッターにかぶせて下さい。
7. 平ヤスリを用いて、デブスゲージジョイントから突出した部分を削って下さい。
8. デブスゲージを削った後は、デブスゲージジョイントを取り外して、デブスゲージの前後の角を平ヤスリで丸く仕上げして下さい。



正しくヤスリを削られたカッターは下図のようになります。

- A: 上刃目立て角度 30°
- B: 横刃目立て角度 80°
- C: 上刃切削角度 60°
- D: デブス 0.64mm

ソーチェーンの目立てが終了したら、ソーチェーンをオイルに浸け、ヤスリ粉を洗い落としてから使用して下さい。ソーチェーンをガイドバー上でヤスリ掛けした場合は、オイルを補給し、ソーチェーンをゆっくり回してヤスリ粉を洗い流してから使用して下さい。

推奨目立てアクセサリ オレゴン・ヤスリホルダー 品番: 25894

ヤスリをセットするだけで簡単に目立て角度と高さが設定できます。ブレードに刻まれた角度に従い素早く、正確に目立て作業を行うための便利な工具です。



12. 故障対策

重要

・補用品や消耗品は必ず、純正部品または指定品を使用して下さい。
純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

故障内容	故障診断	原因	対策
エンジンが始動しない	キャブレタに燃料がない	燃料が入っていない 燃料フィルタの目詰まり 燃料系統の目詰まり キャブレタ不良、内部故障	燃料補給 清掃か交換 販売店へ依頼 販売店へ依頼
	キャブレタに燃料がある	ストップスイッチが停止位置 燃料の変質 燃料の吸い込み過ぎ 電氣的障害 エンジン内部の故障	始動位置にする 新しい燃料と交換 スパークプラグの乾燥 販売店へ依頼 販売店へ依頼
エンジンが始動しにくい また回転が変動する	キャブレタに燃料がある	燃料の変質 キャブレタ不良	新しい燃料と交換 販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れている または濡れている	燃料の変質 電極の火花間隔が正しくない カーボンが付着している 電氣的障害	新しい燃料と交換 調整か交換 清掃か交換 販売店へ依頼
エンジンは始動するが 加速できない		エアフィルタの汚れ 燃料フィルタの汚れ 燃料通路の詰まり キャブレタ調整不良 排気口、マフラー出口の詰まり	清掃か交換 清掃か交換 販売店へ依頼 販売店へ依頼 清掃か販売店へ依頼
エンジンが停止する		キャブレタ調整不良 電氣的障害	販売店へ依頼 販売店へ依頼
アイドリング状態で ソーチェーンが動く		キャブレタ調整不良 クラッチ緩衝	販売店へ依頼 販売店へ依頼
切れ味の低下		ソーチェーンの摩耗 ガイドバーの摩耗 クラッチの摩耗	ソーチェーンの目立て 販売店へ依頼 販売店へ依頼

*表中に記載されていない故障など、ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談下さい。

B-2. 製品の廃棄

製品や部品を廃棄する時は、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従って下さい。

13. 仕様	
型式	HCS128
排気量	28.5 cm ³
最大出力	1.0 kW
燃料混合比	FD 級 2 サイクルエンジンオイル 使用時 50:1
燃料タンク容量	210 cm ³
チェーンオイル	チェーン用オイル
オイルタンク容量	200 cm ³
キャブレタ	ダイヤフラム式
アイドル回転数	3000±400 r/min
最高回転数 (無負荷時)	12000 r/min
マグネット	フライホイールマグネット電子点火方式
スパークプラグ	CHAMPION Y4C/ NGK CMR6A
チェーンオイル給油方式	自動給油
スプロケット歯数 x ピッチ	6T×0.375in
寸法(L x W x H)	380×245×250 (mm)
乾燥重量 (本体のみ)	3.4 kg
ガイドバー	
タイプ	スプロケットノースター
サイズ	14in (350mm)
ソーチェーン	
タイプ	Oregon 91 タイプ 52 コマ
ピッチ	3/8in
ゲージ	.050in
付属品	
丸やすり	プラグレンチ
チェーンカバー	取扱説明書

*この仕様は予告なしに変更になる事があります。

14. 保管

WARNING

燃料ガスが充満している密閉された空間や、裸火、火花のある場所に保管しないで下さい。
火災の原因となる場合があります。

* 製品を20日以上にわたる長期間保管する場合は下記の手順で整備をして下さい。

1. 燃料タンク内の燃料を空にして下さい。
2. プライマリポンプを押す・離すの操作を数回繰り返してプライマリポンプの燃料を抜き取って下さい。
3. エンジンを始動し、ガス欠状態で自然に停まるまで運転して下さい。
4. 製品の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに取り除いて下さい。
5. チェンカバーを装着し、子供の手の届かないホコリの少ない乾いた場所に保管して下さい。

保証書

型 式	チェンソー T3614	お買い上げ日	年 月 日
販売店	住 所：〒		
	店 名：		
	電 話：		
	販売店（レシート）の貼付		

お買い上げいただきました商品に万一不具合が起きたときは、この保証書にもとづいて次の通り保証いたします。

<p>1. 保証内容 お買い上げいただいた製品の欠陥（以下、商品といえます。）を補修する 必要と認められた場合は直営店のサービスが受けられます。この保証書には 本保証書とは別に保証料が定められています。以下、この保証書に本保証 料が定められています。保証料の額が商品に定められている限りは、 なお、お買い上げの際に保証料は発生いたしません。</p> <p>2. 保証期間 保証期間を受けられる期間は、納入日（お客様にお渡しした日）より保 証となります。ただし、お客様が修理を申し込まれた日から保証期間が経過する 場合は納入日（お客様にお渡しした日）よりカウントします。</p> <p>3. 保証書の受け方 保証期間を定められた場合は、お買い上げいただいた販売店へ電話さ すこの保証書をお受け取りいただき、保証書原本を提示しお受け取り。これにより 保証期間がスタートします。この保証書は保証料の納入、保証料の返還を意味いたし ません。</p> <p>4. 保証の対象外となる事項 ①天災・盗難、火災等については、保証の対象外となります。 ②修理部品又は修理費用により発生する取壊、塗装、ラッカー・樹脂部 品等の修理費用は、お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ③修理に要する部品が修理費（部・消耗品）にのみ限られ、修理フィー アは別料金 ④修理の要する部品が修理費にのみならず、取替したことに伴って大 きな修理費 ⑤天災・盗難等の原因による不具合は保証の対象外となります。 ⑥弊社純正部品は、弊社の指定する以外の部品、材料・消耗品その他 の部品 ⑦取り付け、保管、取替もしくは使用の方法または保管場所の誤り、不適 当な使用 ⑧第三者による修理依頼、修理依頼がへり等により弊社のサービスが 受けられない場合 ⑨お客様が修理費用、部品代等（その他）により弊社が提供するサ ポートの範囲を超えて修理を依頼された場合</p>	<p>⑩弊社またはお客様の誤り（取り扱い、修理、改造、付属品の装着 等）による、お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑪お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑫お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑬お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑭お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑮お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑯お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑰お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑱お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑲お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ⑳お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉑お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉒お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉓お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉔お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉕お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉖お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉗お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉘お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉙お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉚お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉛お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉜お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉝お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉞お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㉟お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊱お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊲お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊳お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊴お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊵お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊶お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊷お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊸お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊹お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊺お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊻お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊼お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊽お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊾お客様の責任といたし、保証の対象外となります。 ㊿お客様の責任といたし、保証の対象外となります。</p>
--	---

注）※印刷部に記入がない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。



販売元
インターファームプロダクツ株式会社
〒176-0022 東京都練馬区向山4-35-1
TEL:03-3998-0602 FAX:03-3998-0617